

ヲ圖ラネバナラヌ

而シテ飽ク迄モ自主的組織ト訓練トニヨリ凡ユル條件ノ獲得ニ邁進スルト共ニ我國現在ノ國情ニ鑑ミ資本主義ノ根本的改革ヲ斷行シ新社會ノ建設ニ邁進セバナラナイ

以上ハ總同盟ノ綱領ノ大要デアアル、吾々ハ飽ク迄モ労働運動ニ主力ヲ注ギ如斯事ハ世界ヲ通ジテ各國共同様デアアルガ總同盟ノ綱領ニモアル如ク國情ヲ異ニスレバ勢ヒ運動方法モ變ツテ來ルノデアアルカラ露國カ行ウ政策カ直チニ以テ我國情ニ適スルカト云ヘバ決シテ左様デハナイ、我國ハ我國ノ特有ノ事情ガアル諸君ハ益々總同盟ノ指導精神ヲ遵奉シ自治會發展ノ爲メニ進ンデ貰ヒタイ

一、祝辭

西尾 末廣

最近ノ労働運動ニ二ツノ傾向カ現ハレテ來テ居ル  
其一ツハ何デモカデモ労働組合ニ依テ健全ナル社會カ建設シ得ル

ト云ウ傾向デアアル、私モ労働組合ニ加入シテ多クノ人々ニ交ツテ居ル間ニ成ル程資本家モ亦政府モ惡イト云ウ事ヲ痛感シタ、ソレハ資本家擁護ノ法律ハアルガ吾々労働者擁護ノ法律ハナイノデ吾々ハ政治運動モ併セヤツテ來タノデアアル、トコロカ最近デハ國內ノ情勢ノミニ捉ハレズ國際關係ノ事モ併セテ考ヘバナラヌヨウニナツテ來タ、労働組合モ現在漸ク大人ニナツテ來タ、ソジテ各國共ニ各々國情ニ適シタ運動ヲ進メナクテハナラヌヨウニナツタ即チ勞資ノ協調ニ依テ産業ノ發展ト労働者自身ノ向上ヲモ圖ラネバナラヌ様ニ變ツテ來タ事デアアル

今一ツハ労働組合カ半公共的ナ傾向ヲ帶ビテ來タ事デアアル其例ハ露、伊太利ニ於ケル労働組合カ政府ノ労働行政ノ如キモノヲヤツテ居ル事デアアル、又米國ノ如キモ、ルーズヴェルト大統領ニナツテ不景氣ヲ打開スルニハ國民ノ購買力ヲ増サバナラヌトシ夫レニハ政府カ労働組合ヲ認メルト同時ニ組合ノ認メナイ資本家カ不